

GP-18BK 点検説明書

電源投入後、約6分間点検機能(点検モード)が働きます。この間に作動点検を行うと、警報確認および信号出力(NCU や外部機器)の確認が容易に行うことができます。

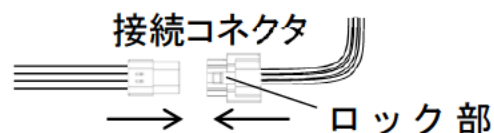


警告

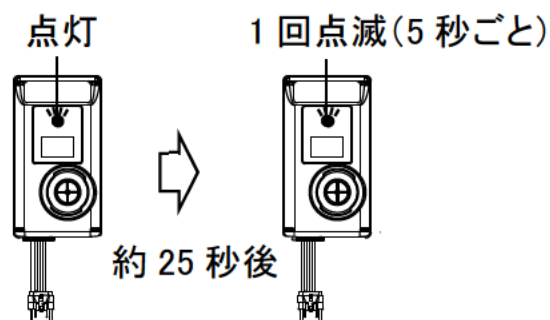
- 必ず付属の点検ガスを使用してください。
付属の点検ガス以外のガスを使用すると、ガス検知センサに悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 点検ガスをプロテクター内に放置しないでください。
放置すると、温度上昇による爆発などの恐れがあります。

〈日常点検の場合〉

- ①接続ケーブルの接続コネクタを検知部の接続コネクタに差し込みます。(電源投入)
検知部の警報ランプ(赤)が点灯します。
※コネクタのロック部分がカチッと
はまるまで確実に差し込んでください。

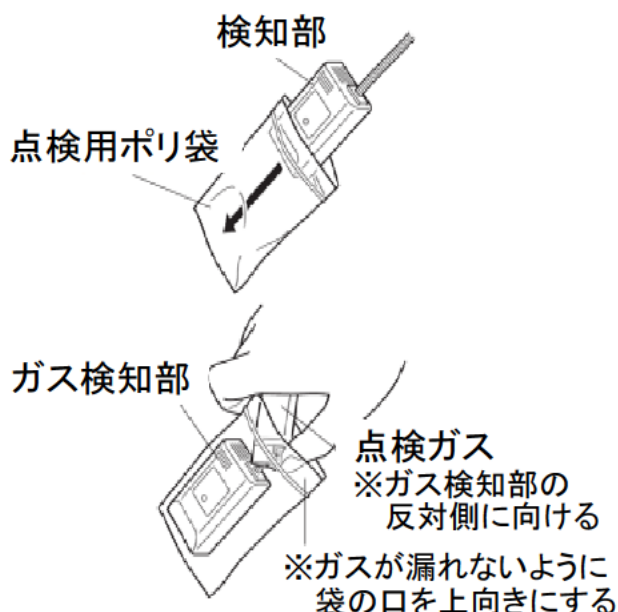


- ②約25秒後、検知部の警報ランプ(赤)が5秒ごとに1回の点滅に変わります。
この時、警報部の確認ボタンを押すと、作動表示ランプ(緑)が5秒ごとに1回点滅します。



- ③検知部を点検用ポリ袋(チャック付)に入れます。

- ④点検ガスの先端を図の様に点検用ポリ袋に入れ、レバーを押えて、約1秒間ガスを注入します。





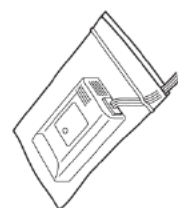
注意

点検ガスの注入は、必ず約 1 秒以内に行ってください。

ガス濃度が濃すぎると、ガス検知センサに悪影響を及ぼす恐れがあります。

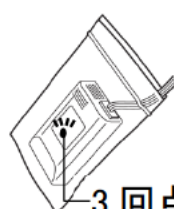
- ⑤袋内のガスができるだけ漏れない様に点検用ポリ袋のチャックを閉め、約40秒程度待ちます。

(ガスの量によっては80秒程度待つ場合もあります)

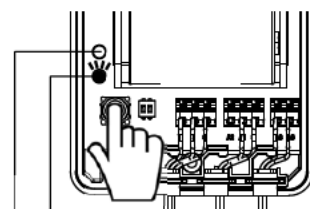


チャックを閉める

- ⑥ガスを検知すると、検知部の警報ランプ(赤)が5秒ごとに3回の点滅に変わり、信号を出力(NCU や外部機器へ)します。この時、警報部の確認ボタンを押すと、作動表示ランプ(赤)が5秒ごとに3回点滅します。



3 回点滅
(5 秒ごと)



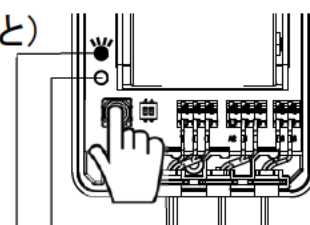
3 回点滅(5 秒ごと)
消灯

- ⑦検知部を点検用ポリ袋から取り出し、検知部取付位置に取り付けます。

- ⑧ガスがなくなると、検知部の警報ランプ(赤)は10秒ごとに1回の点滅に変わり、検知器は監視状態になります。

この時、警報部の確認ボタンを押すと、作動表示ランプ(緑)が5秒ごとに1回点滅します。

1 回点滅(10 秒ごと)



消灯
1 回点滅(5 秒ごと)

※点検ガスを吹きかけ過ぎたり、濃いガスがかかった場合は、警報からの復帰に時間がかかる場合があります。

通常は、点検モード終了時(電源投入から約6分)に警報から復帰します。

- ⑨点検終了後、警報部の端子カバーを閉めます。